

2020年3月期 決算説明会 主なQ&A

Q 今後の費用削減についてはどのように考えているのか。

A 現下の厳しい環境をふまえ、費用および投資抑制の必要性については認識している。鉄道事業は固定費が占める割合が多く、劇的な費用削減は難しいが、例えば費用削減効果は限定的であるものの、ご利用状況を見ながら列車本数削減などは適切に行っていく。中長期的には、設備のシンプル化などにより生産性向上を図ることが不可欠である。鉄道の安全は絶対であるので、それを担保しつつきめ細やかな費用管理を行う。

Q テナントの賃料減免等を行う考えはあるか。

A 新型コロナウイルスへの対応の基本スタンスの1つとして、当社のサプライチェーンを守ることが重要と考えている。テナントの方々については、重要なビジネスパートナーであり、持続的な取引関係を維持するためにも、個別に相談させていただきたい。

Q 新型コロナウイルス流行終息後について、これまでの戦略を変える可能性はあるのか。

A 新型コロナウイルスの感染拡大により、終息後には、例えば清潔感や非接触についての価値向上、集いや自然体験への希求の高まり等、価値観や行動様式の変化がおこる可能性があるともみている。またセカンドオフィス等、働き方も多様化する中で、そういった変化も着眼点として認識しつつ、対応を検討していきたい。

Q 資金調達について、現時点でどの程度の金額を調達していこうと考えているのか。

A CPについては、既に1,000億円を調達した。長期資金については、協議が整い次第調達を実施する。どの程度調達するかについて具体的な金額は控えさせていただくが、厳しい経営環境をふまえ、手元資金をしっかりと確保して今後の事態に備えていきたい。

以 上